

藤沢市指定天然記念物 ツカミヒイラギの指定解除について

- (名 称) ツカミヒイラギ
 (所 在 地) 江の島サムエル・コッキング苑内
 (指 定 日) 昭和46年(1971)7月5日
 (指 定 理 由) 昭和8年、植物分類学の大家、牧野富太郎博士が命名した原木にあたる。植物分類学において、命名の原木と確認されているものは多くなく、学術上貴重な非常に珍しいものである。普通のヒイラギと比べて、葉にとげがなく「つかんでも痛くない」というところから名付けられた。
 (そ の 他) 植樹等の記録がなく樹齢は定かではないが、指定当時で「約100年」としている。

(主な経緯)

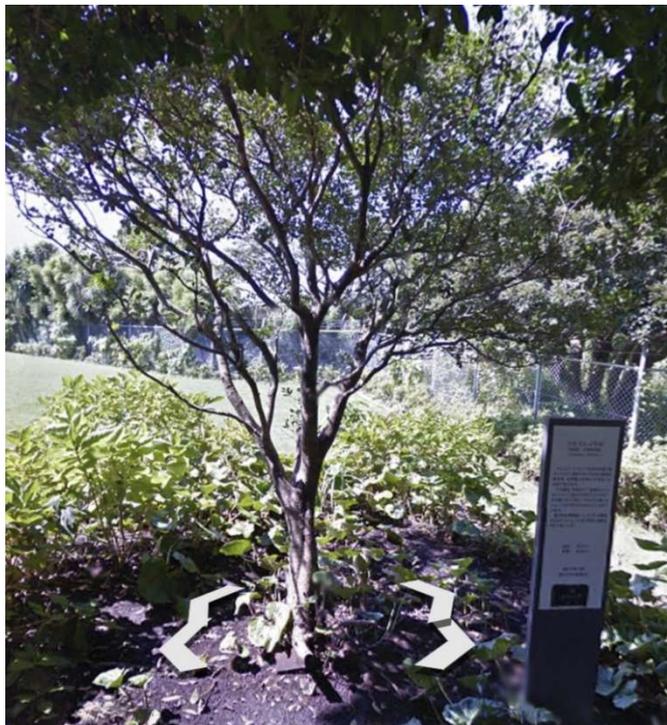
昭和8年頃 (1933年)	牧野富太郎が学会に発表した際の所在地は、現在のサムエル・コッキング苑入口南側の広場で、コッキングの屋敷があったところにあたる。その後、旧植物園内の整備等のため2回移植され現在の地にある。
平成30年6月 (2018年)	樹木診断の結果、「枝葉が少ない」「一部の枝の枯死」「一部の根元の腐朽」等が確認され、樹勢が衰退していると報告。 (対策) 根元の腐朽部位の除去・殺菌。 芽の育成を図るため活性水散布。
同年10月	後継樹育成を開始 (2019年春に芽が出ていれば成功)
時期の記録なし	後継樹の育成が成功しなかったと報告
令和2年11月 (2020年)	担当樹木医が元園長に聞き取りした内容によると、県立フラワーセンターにクローン樹があるとの事。
同月	郷土歴史課職員、県立フラワーセンター訪問。クローンが所在しないことを確認。
令和3年以降～	定期的に状態を確認、依然改善は見られず。
令和4年11月30日 (2022年)	郷土歴史課(菊地課長、磯崎補佐、芦葉担当)、現地にて現状確認。腐朽のため幹から複数の枝が落下して散乱している等、状態が悪化していることを確認。観光課を通して管理者に確認したところ、枝が落ちていること、いつから枝が落ち始めていたのか把握していないとの事。

令和4年12月9日 (2022年)	鈴木委員長、川地委員の現地立会いのもと、指定解除や むなしと判断。
----------------------	--------------------------------------

(所在地)



2015年時のようす (Google ストリートビューから引用)



(樹勢の比較)

2015年時 (Google ストリートビューから引用)



2022年1月撮影



2022年11月撮影



指定天然記念物 指定解除の事例について

事例 1

- (名 称) 遠藤宝泉寺のヤマザクラ
(指 定 日) 昭和55年(1980)12月16日
(指定理由) 宝泉寺の旧境内の東端に位置し、樹齢およそ160年(指定当時)。樹勢なお旺盛で枝ぶりもよい。
(解 除 日) 平成元年10月16日
(解除理由) 枯死のため。

事例 2

- (名 称) 石川のウメ
(指 定 日) 昭和45年(1970)5月20日
(指定理由) 樹齢およそ300年(指定当時)。樹勢、樹形ともにすこぶる良好。これほど見事な梅の木は他にあまり例がない。
(解 除 日) 平成20年(2008)12月26日
(解除理由) 所有者による伐採処分のため。

以 上